岐阜工業高等専門学校インターンシップ
（校外実習・特別実習）について（ご案内）

本校では夏季休業期間中に本科４年生、専攻科１年次を対象にインターンシップ（本科：校外実習、専攻科：特別実習）を実施しております。

インターンシップを受け入れていただける場合は、下記１～３をご一読いただき、高専キャリアサポートシステムへ登録いただきますようお願いいたします。

※感染症の拡大状況等により、中止する場合もございます。

１．受入について

下記高専キャリアサポートシステムの「インターンシップ情報」に開催情報等をご登録ください。

■登録サイト（高専キャリアサポートシステム・学内進路支援サイト）

https://kosen-support.com/company/search/

■登録マニュアル

https://manual.kosen-support.com/mls-careersupport-company/%22

２．受入後

実習期間が終了しましたら、「校外実習証明書」（本科学生用）、「特別実習証明書」（専攻科学生用）を作成いただき、下記宛先まで郵送いただきますようお願いいたします。

【本科】校外実習証明書　Ｐ３

【専攻科】特別実習証明書　Ｐ4-5（両面）

３．（参考）本校インターンシップ（校外実習・特別実習）要項

【参考】校外実習要項　Ｐ6-11

【参考】専攻科特別実習要項　Ｐ12-21

＜郵送・問い合わせ先＞

〒501-0495　岐阜県本巣市上真桑 2236-2

岐阜工業高等専門学校　　学生課教務係

TEL：058-320-1252　　FAX：058-320-1256

Mail：kyoumu★gifu-nct.ac.jp　(★部分を@に変えてください)

本科担当者連絡先

学科名	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	環境都市工学科	建築学科
担当教員名	石丸　和博	飯田　民夫	福永　哲也	渡邉　尚彦	櫻木　耕史
電話番号	320−1334	320−1356	320−1383	320−1402	320−1423
メールアドレス	ishimaru@	iida @	fukunaga@	watanabe@	sakuragi@

専攻科担当者連絡先

専攻名	先端融合開発専攻 （機械・電気情報・電子制御）	先端融合開発専攻 （環境都市・建築）
担当教員名	冨田　睦雄	鶴田　佳子
電話番号	320−1360	320−1416
メールアドレス	tomita@	yoko@

電話番号は、市外局番「058」の後に上記番号を続けてください。

メールアドレスは、@の後に gifu−nct.ac.jp を続けてください。

様式１

令和　　年　　月　　日

校 外 実 習 証 明 書

下記のとおり当所において実習したことを証明します。

事業所名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

<table>
<tr><td>学　　校</td><td colspan="4">岐阜工業高等専門学校　　学科　　第　　学年</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td></td><td rowspan="2">期
間</td><td colspan="2">令和　　年　　月　　日～　　月　　日</td></tr>
<tr><td>実習事業場</td><td></td><td colspan="2">実働　　日間</td></tr>
<tr><td>実習内容</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">概　　評</td><td>評　　価</td><td colspan="4">□優れている　□良好　□普通
□やや劣る　□劣る</td></tr>
<tr><td>実習態度についての総合所見</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">出欠状況</td><td>出　勤</td><td>欠　勤</td><td>遅　刻</td><td>早　退</td></tr>
<tr><td>日</td><td>日</td><td>回</td><td>回</td></tr>
<tr><td>その他特記事項</td><td colspan="4">今後本人を指導するうえでの参考事項等</td></tr>
</table>

様式２

令和　　年　　月　　日

特 別 実 習 証 明 書

岐阜工業高等専門学校長　殿

事業所名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

特別実習について，下記のとおり証明します。

<table>
<tr><td>学　　校</td><td colspan="3">岐阜工業高等専門学校　専攻科先端融合開発専攻　第　　年次</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td></td><td rowspan="2">期
間</td><td>令和　　年　　月　　日～　　月　　日</td></tr>
<tr><td>特別実習事業場</td><td></td><td>特別実習　　日</td></tr>
<tr><td>特 別 実 習 内 容</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">概　　評</td><td>評　　価</td><td colspan="2">☐非常に優れている　☐優れている　☐普通である
☐劣っている　☐非常に劣っている</td></tr>
<tr><td>実習態度についての
総　合　所　見</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実 習 報 告 書 の
内　容　確　認</td><td colspan="3">特別実習報告会で発表する報告内容について（承認ならば☐にチェック願います。）
☐　承認しています。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他
特　記　事　項</td><td colspan="3">今後本人を指導するうえでの参考事項等</td></tr>
</table>

特 別 実 習 達 成 度 評 価

別紙の説明資料に基づいて、下記の項目を評価ください。

5：非常に優れている　　4：優れている　　3：普通である
2：劣っている　　1：非常に劣っている
実習内容等の関係で評価が不能な場合は　0　としてください。

項　　目	達成度評価
技術者倫理を身につけること	
問題抽出・検討能力を身につけること	
協調・管理統率能力を身につけること	
実践能力を身につけること	
報告書作成・プレゼンテーション能力を身につけること	
評価能力を身につけること	

※より適当な評価項目がございましたら、ご記入ください。
　また、上記の評価項目で不適当なものがございましたらご指摘ください。

岐阜工業高等専門学校校外実習要項

制定　平成５年２月２５日

（目的）

第１　校外実習（以下「実習」という。）は，企業，官公庁又は大学（海外を含む。）において学生に工学上の学術応用を実地で体験させ，併せて技術者としての心構えを養わせることを目的とする。

（実習の区分）

第２　実習の区分については，次の各号に定めるとおりとする。

一　第４学年における就業体験等

二　校長が認めた海外における研修等

（計画・実施）

第３　実習は，研究主事主管のもとに，次の各号のとおり計画し実施する。

一　前項第一号については，学科長及び学級担任において計画し実施する。

二　前項第二号については，国際交流室において計画し実施する。

（実施の期間及び時期）

第４　実習は，原則として２週間以上（実習日１０日以上）とし，夏季休業期間中に行うものとする。ただし，やむを得ない理由がある場合は，１週間以上（実習日５日以上），若しくは夏季休業期間外にかけて実施することができる。

（経費）

第５　実習に要する経費は，原則として実習に参加する学生（以下「実習生」という。）の負担とする。

（実施責任者）

第６　実習を円滑に実施するため，実施責任者を次の各号のとおりとする。

一　第２項第一号については，学科長とする。

二　第２項第二号については，国際交流室長とする。

（学級担任等の業務）

第７　学級担任等は，実施責任者の指示のもとに，次の業務にあたる。

一　実習生の受入先事業所等の選定

二　実習生の受入先事業所等への配属

三　実習における安全管理（傷害保険への加入指導を含む。）・就業心得等の事前指導

四　実習中に発生した事故又は異常事態の処置及び報告

五　実習先事業所等との連格調整

六　その他必要な事項

（実地指導）

第８　学級担任，学科長又は国際交流室長等は，必要に応じ実習生に対し，受入先事業所等において実地指導を行う。

（報告）

第９　実習生は実習終了後直ちに，次に掲げる書類を学級担任を経て学科長又は国際交流室長に提出し，学科又は国際交流室が行う実習報告会で実習内容を発表しなければならない。

一　校外実習証明書（別紙様式第１号又はForm１）

二　校外実習報告書（別紙様式第２号）又は事業所等の書式により事業所等に提出した報告書の写

三　実習日誌（別紙様式第３号）

（成績評価及び単位の認定）

第10　所定の実習を終了した学生の評価は，次によるものとする。ただし，第４項に定める実習期間を満了しない場合は，この限りでない。

一　実習の成績は，前項各号に定める内容等に基づき総合的に判断し評価する。

二　評価は，合格，不合格とする。１週間以上（実習日５日以上）は１単位，２週間以上（実習日１０日以上）は２ 単位として認定する。

三　各実習生の単位認定は，年度ごとに行い，卒業までに認定することのできる総単位は，第２項第一号及び第二号合せて１０単位を超えないものとし，卒業要件の単位に含めないものとする。

（雑則）

第 11　この要項に定めるもののほか，必要な事項は研究主事と学科長又は国際交流室長が協議の上定めるものとする。

（事務）

第 12　実習に関する事務は，学生課が処理する。

附　則（平成５年学校規則第７号）

この要項は，平成５年４月１日から施行し，平成５年４月１日以後の第１学年入学者から適用する。

付　記

この要項は，平成１７年３月１４日から実施し，平成１６年４月１日から適用する。

付　記

１　この要項は，平成３０年６月２７日から実施し，平成３０年４月１日から適用する。

２　岐阜工業高等専門学校校外実習要項の取扱いは廃止する。

付　記

この要項は，令和５年７月２６日から実施し，令和５年４月１日から適用する。

様式１

令和　　年　　月　　日

校 外 実 習 証 明 書

下記のとおり当所において実習したことを証明します。

事業所名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

<table>
<tr><td>学　　校</td><td colspan="4">岐阜工業高等専門学校　　学科　　第　　学年</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td></td><td rowspan="2">期
間</td><td colspan="2">令和　　年　　月　　日～　　月　　日</td></tr>
<tr><td>実習事業場</td><td></td><td colspan="2">実働　　日間</td></tr>
<tr><td>実習内容</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">概　　評</td><td>評　　価</td><td colspan="4">□優れている　□良好　□普通
□やや劣る　□劣る</td></tr>
<tr><td>実習態度についての総合所見</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">出欠状況</td><td>出　勤</td><td>欠　勤</td><td>遅　刻</td><td>早　退</td></tr>
<tr><td>日</td><td>日</td><td>回</td><td>回</td></tr>
<tr><td>その他特記事項</td><td colspan="4">今後本人を指導するうえでの参考事項等</td></tr>
</table>

Form 1

Date：

Certification of Internship Completion

To President of National Institute of Technology, Gifu College

Organization

Signature of Chief Manager

This is to certify that the internship has been completed as follows.

<table>
<tr><td>Affiliation</td><td colspan="5">Associate Degree Programs,
National Institute of Technology, Gifu College</td></tr>
<tr><td>Student's Name</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">Period</td><td colspan="2" rowspan="2">From ____ to ____
(Day/Month/Year) (Day/Month/Year)</td></tr>
<tr><td>Workplace</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">Duration
____days ____hours</td></tr>
<tr><td>Internship
Project Title</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">General Remark</td><td>Evaluation</td><td colspan="4">☐ Excellent ☐ Good ☐ Fair
☐ Poor ☐ Bad</td></tr>
<tr><td>Overall Findings on Student's Attitudes</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Attendance Check</td><td>Attendance</td><td>Absence</td><td>Tardy</td><td>Early Leaving</td></tr>
<tr><td>days</td><td>days</td><td>times</td><td>times</td></tr>
<tr><td>Notes</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

様式２

令和　　年　　月　　日

校 外 実 習 報 告 書

下記のとおり実習を終了しましたので報告します。

＿＿＿＿＿＿＿学科　第＿＿＿学年

氏　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事　業　所　名	
責　任　者　名	
実　　習 事　業　場	
期　　間	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日 実働　＿＿＿＿＿日間
実　習　内　容	

様式３

校 外 実 習 日 誌

＿＿＿＿＿＿＿学科　第＿＿＿学年

氏　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事業所名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習期間　令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日　　実働＿＿＿日間

実　習　期　日		実　　習　　内　　容	実 習 事 業 場
月 ・ 日	曜 日		

岐阜工業高等専門学校専攻科特別実習要項

制定　平成７年２月８日

（趣旨）

第１条　岐阜工業高等専門学校学則第44条の規定に基づき行う特別実習は，この要項の定めるところによる。

（目的）

第２条　特別実習は，企業，官公庁又は大学（海外を含む）において技術体験を通じて実践的技術感覚を体得させるとともに，技術体験で得た成果を学修（特に特別研究）に生かすことを目的とする。

（計画・実施）

第３条　特別実習は，専攻科長及び専攻科長補佐において計画し校長の許可を得て実施するものとする。

２　特別実習を行う学生（以下「特別実習生」という。）は，前項の計画に基づき，特別実習計画書（様式１）を作成し，専攻科長又は専攻科長補佐を経て校長に提出しなければならない。

（実施の期間及び時期）

第４条　学則第４４条第３項に定める教室外における４０時間は，５日以上に渡って行うものとする。

２　特別実習は，原則として夏季休業期間中に行うものとする。ただし，やむを得ない理由がある場合は，夏季休業期間外にかけて実施することができる。

（経費）

第５条　特別実習に要する経費は，原則として特別実習生の負担とする。

（実施責任者）

第６条　特別実習を円滑に実施するため，専攻科長及び専攻科長補佐を実施責任者とする。

（担当教員の業務）

第７条　担当教員は，専攻科長及び専攻科長補佐の指示のもとに，次の業務にあたる。

一　特別実習生の受入先事業所等の選定
二　特別実習生の受入先事業所等への配属
三　特別実習における安全管理（障害保険への加入指導を含む。）・就業心得等の事前指導
四　特別実習中に発生した事故又は異常事態の処置及び報告
五　特別実習先事業所等との連絡調整
六　その他必要な事項

（実地指導）

第８条　専攻科長及び専攻科長補佐は，必要に応じ特別実習生に対し，受入先事業所等において実地指導を行うものとする。

（報告）

第９条　特別実習生は特別実習終了後直ちに，次に掲げる書類を専攻科長又は専攻科長補佐を経て校長に提出しなければならない。

一　特別実習証明書（様式２又はForm２）
二　特別実習報告書（様式３）又は事業所等の書式により事業所等に提出した報告書の写
三　特別実習日誌（様式４）

２　特別実習生は，専攻科が行う特別実習報告会において特別実習内容を発表しなければならない。

（成績評価及び単位の認定）

第１０条　所定の特別実習を終了した学生の評価は，次によるものとする。ただし，第４条に定める特別実習期間を満了しない場合は，この限りでない。

一　特別実習の成績は，前条に定める内容等に基づき総合的に判断し評価する。
二　評価は，合格，不合格とし，合格の場合は，特別実習の単位を認定する。ただし，専攻科が行う特別実習報告会が未実施の場合の評価は，未定とする。

（雑則）

第１１条　この要項に定めるもののほか，特別実習に関し必要な事項は，専攻科長と専攻科長補佐が協議し

校長が定めるものとする。

（事務）

第１２条　特別実習に関する事務は，学生課が処理する。

附　則

この要項は，平成 7 年 4 月 1 から施行する。

附　則

１　この要項は，平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

２　この改正に伴い，岐阜工業高等専門学校専攻科特別実習取扱内規（平成 7 年 2 月 8 日制定）は，廃止する。

付　記

この要項は，平成 17 年 3 月 14 日から実施し，平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

付　記

この要項は，平成 23 年 10 月 31 日から実施し，平成 23 年 4 月 1 日から適用する。

付　記

この要項は，平成 26 年 4 月 1 日から実施する。

付　記

この要項は，平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

付　記

この要項は，平成 29 年 4 月 1 日から実施する。

付　記

この要項は，令和元年６月２６日から実施し，平成３１年４月１日から適用する。

様式１

令和　　年　　月　　日

特 別 実 習 計 画 書

岐阜工業高等専門学校長　殿

専攻科先端融合開発専攻　第　　年次

氏　名

事 業 所 名	
責 任 者 名	
特 別 実 習 事　業　場	
期　　間	令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日 特別実習１　　日　　時間 特別実習２　　日　　時間
特 別 実 習 計　　画	

様式２

令和　　年　　月　　日

特 別 実 習 証 明 書

岐阜工業高等専門学校長　殿

事業所名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

責任者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

特別実習について，下記のとおり証明します。

<table>
<tr><td>学　　校</td><td colspan="3">岐阜工業高等専門学校　専攻科先端融合開発専攻　第　　年次</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td></td><td rowspan="2">期
間</td><td>令和　　年　　月　　日～　　月　　日</td></tr>
<tr><td>特別実習事業場</td><td></td><td>特別実習　　日</td></tr>
<tr><td>特 別 実 習 内 容</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">概　　評</td><td>評　　価</td><td colspan="2">□非常に優れている　□優れている　□普通である
□劣っている　□非常に劣っている</td></tr>
<tr><td>実習態度についての
総　合　所　見</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実 習 報 告 書 の
内　容　確　認</td><td colspan="3">特別実習報告会で発表する報告内容について（承認ならば□にチェック願います。）
□　承認しています。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他
特　記　事　項</td><td colspan="3">今後本人を指導するうえでの参考事項等</td></tr>
</table>

1/2

特 別 実 習 達 成 度 評 価

別紙の説明資料に基づいて、下記の項目を評価ください。

5：非常に優れている　　4：優れている　　3：普通である
2：劣っている　　1：非常に劣っている
実習内容等の関係で評価が不能な場合は　0　としてください。

項　　目	達成度評価
技術者倫理を身につけること	
問題抽出・検討能力を身につけること	
協調・管理統率能力を身につけること	
実践能力を身につけること	
報告書作成・プレゼンテーション能力を身につけること	
評価能力を身につけること	

※より適当な評価項目がございましたら、ご記入ください。
　また、上記の評価項目で不適当なものがございましたらご指摘ください。

Form 2

Date : _____

Certification of Internship Completion

To President of National Institute of Technology, Gifu College

Organization _____

Signature of Chief Manager _____

This is to certify that the internship has been completed as follows.

<table>
<tr><td>Affiliation</td><td colspan="3">Advanced Course for Engineering,
National Institute of Technology, Gifu College</td></tr>
<tr><td>Student's Name</td><td></td><td rowspan="2">Period</td><td>From_____ to _____
(Day/Month/Year) (Day/Month/Year)</td></tr>
<tr><td>Workplace</td><td></td><td>Duration
_____days</td></tr>
<tr><td>Internship Project Title</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">General Remark</td><td>Evaluation</td><td colspan="2">☐ Excellent ☐ Good ☐ Fair
☐ Poor ☐ Bad</td></tr>
<tr><td>Overall Findings on Student's Attitudes</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>Permission to Report</td><td colspan="3">About the student's report of internship activities which will be presented on the debriefing session,
☐ I give permission. (Please check if you give permission.)</td></tr>
<tr><td>Notes</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

Achievement Evaluation

Please evaluate the student from the following viewpoints.

5 : Excellent　　4 : Good　　3: Fair　　2 : Poor　　1 : Bad

Abilities Measured	Evaluation
Engineer Ethics	
Ability of extracting and examining problems	
Ability of cooperation, management and leadership	
Practical skill	
Skills of report writing and presentation	
Ability of evaluation	
Please indicate if you have more appropriate items to be added	

様式３

令和　　年　　月　　日

特 別 実 習 報 告 書

岐阜工業高等専門学校長　殿

専攻科先端融合開発専攻　第＿＿年次

氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり特別実習を終了しましたので報告します。

事 業 所 名	
責 任 者 名	
特 別 実 習 事　業　場	
期　　間	令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日 特別実習１　＿＿＿＿＿日　＿＿＿＿＿時間 特別実習２　＿＿＿＿＿日　＿＿＿＿＿時間
特 別 実 習 内　　容	

様式４

特 別 実 習 日 誌

専攻科先端融合開発専攻　第＿＿年次

氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事業所名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

特別実習期間　令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日 ＿＿日 ＿＿＿時間(学外 ＿＿時間以上)

特別実習期日		特　別　実　習　内　容	特別実習事業場
月・日	曜　日		

特 別 実 習 学 内 作 業 記 録

特　別　実　習 学内作業期日			特別実習（学内作業）内容	作業場所
日付	時間帯	時間		
合計時間			≧____時間	